
プログラム 6月25日(土)

基調講演

10:05～10:50 メイン会場(820)

座長：宮本真巳（亀田医療大学）

幸せにつながる保健医療～コーチングを軸とした諸手法

森谷 満（北海道医療大学病院）

特別講演

14:00～15:20 メイン会場(820)

座長：森谷 満（北海道医療大学病院）

なぜ医療・保健にコーチングが必要か～患者の視点から

鱸 伸子（オフィスセレンディピティー）

体験学習ワークショップ1

15:30～17:30 メイン会場(820)

ともに幸せに向かうコーチング～ありたい未来を惹き寄せる自分になる～

川島美保（日本赤十字豊田看護大学）

体験学習ワークショップ2

15:30～17:30 会場 1 (1030)

異和感の対自化—感性を磨く技法—

宮本真巳（亀田医療大学）

体験学習ワークショップ3

15:30～17:30 会場 2 (1070)

「やる気を引き出す保健指導・患者指導」～健康行動理論に基づいて～

松本千明（北海道立旭川高等看護学院）

体験学習ワークショップ4

15:30～17:30 会場 3 (1060)

来談者のやる気を引き出す協働的な面談スタイル～動機づけ面接法の魅力

北田雅子（札幌学院大学）

プログラム 6月26日(日)

シンポジウム

13:40~15:40 メイン会場(820)

ケアリングマインドでみんなを幸せに

司 会：小田和美（札幌市立大学）

安酸史子（防衛医科大学校）

話題提供：安酸史子（防衛医科大学校医学教育部看護学科）

岩見喜久子（カレスサッポロクリニカルシミュレーションセンター）

吉武ゆり（（社）日本ヨーガ療法学会認定ヨーガ療法士）

一般演題 口頭発表：6月25日（土）

セッション01 生徒・学生と行動科学

11:15~12:05 メイン会場 (820)

座長：元村直靖（大阪医科大学）

O1-1 聴覚障害学生支援活動の継続要因に関する予備的検討

○磯田恭子（筑波大学大学院人間総合科学研究科）、橋本佐由理（筑波大学）

O1-2 被災地の高校生の「生」に対する思い—年次アンケート調査によるイメージの比較—

○神崎真姫（甲南女子大学）、酒井ひろ子（森ノ宮医療大学）

セッション02 諸分野での行動科学

10:50~12:05 会場 1 (1030)

座長：平 英美（京都看護大学）

O2-1 新たな在宅の取り組み—ホームホスピスの新たな地域づくりから—

○松原みゆき（広島都市学園大学）

O2-2 わかりやすい情報提供のガイドライン作成と方法

○小林美津江（佛教大学大学院博士後期課程）

O2-3 臨床工学技士が行う超音波検査の活用方法に関する文献研究

○海澤克太（埼玉医療生活協同組合皆野病院）、岡 美智代（群馬大学大学院保健学研究科）、
大滝 徹（庄内医療生活協同組合鶴岡協立病院）

セッション03 行動科学を支える支援方法

10:50~12:05 会場2(1070)

座長：岡 美智代（群馬大学大学院）

O3-1 セルフケア行動の意欲向上につながるアプリケーションについての検討

○井手段幸樹（群馬大学大学院保健学研究科）、小林奈未（群馬大学医学部附属病院）、岡
美智代（群馬大学大学院保健学研究科）

O3-2 2型糖尿病患者の目標達成を支援する既存スマホアプリの評価

○井手段幸樹（群馬大学大学院保健学研究科）、金山宗未（群馬大学医学部附属病院）、岡
美智代（群馬大学大学院保健学研究科）

O3-3 血液透析患者への「聞き書き」活動による効果

○岡 美智代（群馬大学大学院保健学研究科）、齊藤詩織（群馬大学医学部附属病院）、井
手段幸樹（群馬大学大学院保健学研究科）

一般演題 口頭発表：6月26日（日）

セッション04 女性・夫婦と食行動の行動科学 9:30～11:35 メイン会場(820)

座長：末松弘行（名古屋学芸大学）

山崎久美子（防衛医科大学校）

O4-1 更年期女性における更年期症状と心理的健康および心理特性の関連

○福田佳奈子（筑波大学大学院人間総合科学研究科）、蓮井貴子（東京医療保健大学）、真崎由香（茨城キリスト教大学）、橋本佐由理（筑波大学体育系）

O4-2 周産期における開かれた対話—妊産婦および乳児のつどいの実践から—

○岡いくよ（関西学院大学社会学部社会学研究科博士課程）

O4-3 女性糖尿病患者の心理特性や不健康な行動感覚に関する研究—40歳代から60歳代の更年期症状のない女性との比較から—

○橋本佐由理（筑波大学）、福田佳奈子（筑波大学大学院）、蓮井貴子（東京医療保健大学）、伊藤千春（西武文理大学）、真崎由香（茨城キリスト教大学）、向笠京子（洗足子ども短期大学）、樋口倫子（明海大学）

O4-4 生活習慣病予防における夫婦の関係性と精神健康に関する文献研究

○竹下美貴代（筑波大学大学院人間総合科学研究科）、橋本佐由理（筑波大学大学院体育系）

O4-5 食行動と感情制御に関する文献研究

○井出宣子（筑波大学大学院人間総合科学研究科）、橋本佐由理（筑波大学体育系）

セッション05 就労者と部活動の行動科学 9:30～11:35 会場1(1030)

座長：宮本眞巳（亀田医療大学）

松原みゆき（広島都市学園大学）

O5-1 ソフトシステム方法論による Interprofessional Work に向かう合意形成

○大滝 徹（庄内医療生活協同組合鶴岡協立病院）、岡 美智代（群馬大学大学院保健学研究科）、井手段幸樹（群馬大学大学院保健学研究科）

O5-2 単科精神科病院におけるがんの合併状況 第1報—統合失調症患者を看取る看護師の背景—

○荒井春生（天使大学看護栄養学部看護学科）、園田和子（帝京大学福岡医療技術学部看護学科）

O5-3 看護師の e-Learning 利用行動に関する研究 - 個人要因についての検討 -

○大田 博（兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科、四條畷学園大学）、東ますみ（神戸女子大学）、藤永新子（四條畷学園大学）、石橋信江（甲南女子大学）

O5-4 職業性ストレスとマインドフルネスとの関連

○村上 真（筑波大学大学院人間総合科学研究科）、橋本佐由理（筑波大学体育系）

O5-5 運動部活動におけるストレスに関する文献検討

○高間 薫（筑波大学大学院人間総合科学研究科）、橋本佐由理（筑波大学体育系）

一般演題 ポスター発表：6月26日（日）

セッション P1 医療者と行動科学

11:35～12:35 会場 2 (1070)

座長：諏訪茂樹（東京女子医科大学）

- P1-1 ポジティブ・アプローチによる「一人前」看護師のリーダーシップ能力の育成—卒後3・4年目看護師の集合研修の意義を探る—

○吉田和美（日本赤十字広島看護大学）

- P1-2 一人暮らしを始めた看護学生の日常生活における認識

○須藤みつ子（弘前医療福祉大学）、平川美和子（弘前医療福祉大学）

- P1-3 野宿生活者への看護職ボランティア健康相談の意味—7年の活動経過に焦点を当てて—

○井上清美（姫路獨協大学）

- P1-4 薬剤師の職業性ストレスとその緩衝要因における文献検討

○宮入京子（筑波大学大学院人間総合科学研究科）、橋本佐由理（筑波大学体育系）

セッション P2 諸分野での行動科学

11:35～12:35 会場 2 (1070)

座長：道信良子（札幌医科大学医療人育成センター）

- P2-1 日本におけるセクシュアルマイノリティのメンタルヘルス研究—メンタルヘルス改善のための介入可能性—

○中村洸太（筑波大学大学院人間総合科学研究科）、橋本佐由理（筑波大学）

- P2-2 <孫は私の子どもではない>という語りの文化人類学的考察—「生殖から離れている身体」の健康支援—

○田辺けい子（神奈川県立保健福祉大学）

- P2-3 母親の育児不安と育児をめぐる心理社会的要因—母親の自己イメージや気質、支援認知、育児への認知との関連—

○眞崎由香（茨城キリスト教大学）、橋本佐由理（筑波大学）

- P2-4 大学柔道選手のスポーツ傷害発生に関わる要因について—傷害歴の有無と心理社会的要因からの検討—

○小林好信（筑波大学大学院人間総合科学研究科）、橋本佐由理（筑波大学）

セッション P3 行動科学を支える支援方法

11:35~12:35 会場 2 (1070)

座長：吉岡隆之（奈良学園大学）

P3-1 Mobile 端末による Well-being 支援プログラム内容の検討

○樋口倫子（明海大学）、杉浦雄策（明海大学）、星野伸明（明海大学）、橋本佐由理（筑波大学）

P3-2 高齢者が利用しやすいアプリのユーザーインターフェースとは

○岡 美智代（群馬大学大学院保健学研究科）、藤倉綾音（足利赤十字病院）、井手段幸樹（群馬大学大学院保健学研究科）

P3-3 MID 端末および運動支援・SNS 機能の活用が大学生の運動習慣形成に及ぼす影響

○杉浦雄策（明海大学）、樋口倫子（明海大学）、星野伸明（明海大学）

P3-4 大学生の Well-being とキャリア成熟

○星野伸明（明海大学）、樋口倫子（明海大学）、杉浦雄策（明海大学）、橋本佐由理（筑波大学）

セッション P4 病者の行動科学

11:35~12:20 会場 2 (1070)

座長：中川 晶（奈良学園大学）

P4-1 糖尿病患者会の運営を阻む要因の検討—効果的な運営に向けた一考察—

○藤永新子（四條畷学園大学看護学部）、東ますみ（神戸女子大学看護学部）、大田 博（四條畷学園大学看護学部）、西尾ゆかり（四條畷学園大学看護学部）、安森由美（四條畷学園大学看護学部）、鈴木幸子（四條畷学園大学看護学部）

P4-2 アトピー性皮膚炎にまつわる言説の国際比較—日本・イギリス・オーストラリアの新聞記事より—

○駒田安紀（大阪府立大学）

P4-3 単科精神科病院におけるがんの合併状況 第2報—統合失調症患者の背景—

○園田和子（帝京大学福岡医療技術学部看護学科）、荒井春生（天使大学看護栄養学部看護学科）